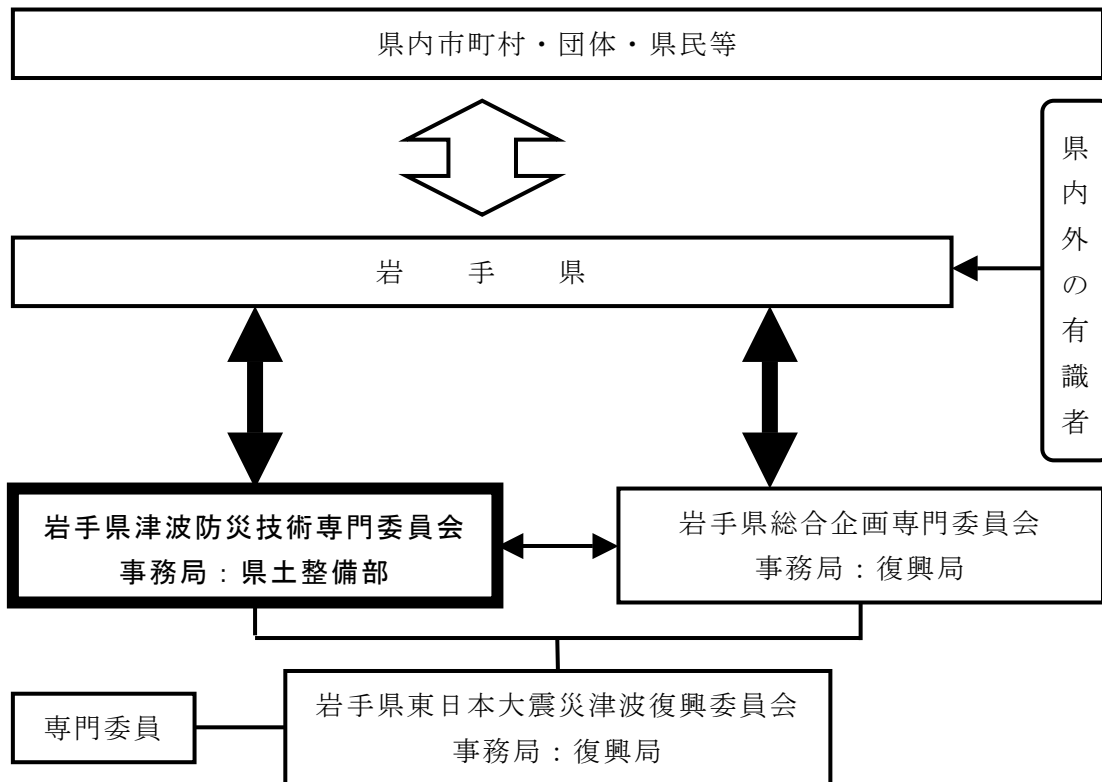


岩手県津波防災技術専門委員会について

1 岩手県における復興計画策定の体制



2 岩手県津波防災技術専門委員会の役割

(1) 目的

東日本大震災津波からの復興に向けた「復興ビジョン」及び「復興計画」を策定するにあたり、被害状況等の調査結果や技術的根拠等専門的な知見に基づき、地域の歴史や文化、産業等の地域特性を考慮し、津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標、防災型の都市・地域づくりについて検討、提言を行い、まちづくりに資する

(2) 所掌事務

- ① 津波対策、防災型の都市・地域づくりの現状と課題の分析に関すること。
- ② 津波対策の方向性、津波対策施設の整備目標、防災型の都市・地域づくりに係る提言に関すること。
- ③ その他津波対策、防災型の都市・地域づくりの推進にあたって必要な事項に関すること。

(3) 委員及びオブザーバー名簿

<委員>

氏名	職名等
いまむら 文彦 いまいむら ふみひこ	東北大学大学院 教授
さかい しげき さかい しげき	岩手大学 工学部長
しゅとう のぶお しゅとう のぶお	東北大学 名誉教授
ないとう ひろし ないとう ひろし	建築家・前東京大学教授
はとう えいじ はとう えいじ	東京大学大学院 准教授
ひらやま けんいち ひらやま けんいち	独立行政法人 科学技術振興機構 JST イノベーションサテライトいわて 館長
みなみ まさあき みなみ まさあき	岩手大学工学部 教授
やまもと ひでかず やまもと ひでかず	岩手大学工学部 准教授

<オブザーバー>

氏名	職名等
すお よしお すお よしお	国土交通省 国土技術政策総合研究所河川研究部 海岸研究室長
とみた たかし とみた たかし	独立行政法人 港湾空港技術研究所 アジア・太平洋沿岸防災研究センター 上席研究官
なかじま よしまさ なかじま よしまさ	国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾計画課長
ながしま よしたか ながしま よしたか	農林水産省 東北農政局 農村計画部長
もうり よしゆき もうり よしゆき	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 施設工学研究領域長
やぎ ひろし やぎ ひろし	独立行政法人 水産総合研究センター 水産工学研 究所水産土木工学部 水産基盤グループ長
よこやま きよた よこやま きよた	国土交通省 東北地方整備局河川部 地域河川課長

3 岩手県東日本大震災津波復興計画への反映状況(海岸保全施設等について抜粋)

(1) 津波対策の基本的な考え方

今回の大震災津波は、明治29年、昭和8年の三陸地震津波、昭和35年のチリ地震津波を凌ぐ大規模なものとなった。今回の津波に対して防潮堤や湾口防波堤など既存防災施設が果たした役割について検証した結果、津波到達時間を遅らせる効果、浸水の深さを下げる効果、津波エネルギー（流速）を減衰する効果が確認されたが、ハード対策のみでは防御することが困難であることが示された。

一方、日頃から各地域で実施されてきた避難訓練、地域や小中学校等で行われてきた防災教育等も今回の大震災津波からの避難に一定の寄与がみられた。

これらを踏まえ、本県における津波対策の基本的な考え方として、再び人命が失われることがない多重防災型まちづくりと防災文化を醸成し継承することを目指す。具体的には、被害状況や地理的条件、歴史や文化、産業構造などに応じて、その地域にふさわしい「海岸保全施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を適切に組み合わせた多重防災型まちづくりを進め、被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより「安全の確保」を図る。

(2) 津波対策の方向性

① 海岸保全施設

津波対策の基本的な考え方を達成するためには、海岸保全施設の整備は過去に発生した最大の津波高さを目標とするのが望ましい。しかし、地形条件や社会・環境に与える影響、費用等の観点から、海岸保全施設のみによる対策は必ずしも現実的でない場合がある。この場合、海岸保全施設の整備目標は、過去に発生した津波等を地域ごとに検証し、概ね百数十年程度の頻度で起こり得る津波に対応できる高さとする。

湾口防波堤や防潮堤、河川堤防、水門、陸こうなど海岸保全施設の整備に当たっては、まちづくりと一体的に検討を行い、地域に最も適した効果的な配置とする。

今回の津波による海岸保全施設の破壊メカニズムについて詳細な検証を実施し、復旧・整備に当たっては、計画規模を超える津波に対しても破壊されにくい構造を検討する。

また、水門や陸こうについては、操作員の安全を確保するため、操作の遠隔化、通信手段・電源等の多重化を図る。

4 岩手県津波防災技術専門委員会の開催状況

月 日	内 容
第1回 H23.4.22	陸前高田市高田海岸、大槌町大槌漁港海岸、山田町山田漁港海岸、宮古市市田老海岸等14地区の <u>被災状況の把握</u> 及び考察 など
第2回 H23.5.8	陸前高田市高田海岸、大槌町大槌漁港海岸、山田町山田漁港海岸、宮古市市田老海岸等9地区における今回の津波再現 <u>シミュレーション結果による現況施設の効果検証、海岸保全施設の被災メカニズム</u> など
第3回 H23.5.23	<u>津波対策の方向性等の考え方(案)</u> 、復興 <u>まちづくりのイメージ</u> など
第4回 H23.7.4	個別地区の検討 高田海岸（陸前高田市）、越喜来海岸（大船渡市）
第5回 H23.8.9	個別地区の検討 野田海岸（野田村）、小本海岸（岩泉町）、片岸海岸（釜石市）
第6回 H23.9.5	個別地区の検討 田老海岸、宮古港海岸（宮古市）、山田漁港海岸（山田町）、平内海岸（洋野町）、宇留部海岸・太田名部海岸（普代村）、嶋之越海岸（田野畑村）
第7回 H23.10.15	個別地区の検討 両石漁港海岸、釜石港海岸、小白浜漁港海岸（釜石市） 大船渡港海岸、吉浜海岸、綾里漁港海岸（大船渡市） 久慈港海岸・久慈湊漁港海岸（久慈市）、浦の浜海岸（山田町）